

## 2023年度採択課題(2023年度末)

No	ID	新規・ 継続	課題分類	利用施設	申請代表者	所属機関	身分	対応 者	課題名	配分額
1	2023-A-01	継続	A4) 自由研究	2) 屋久島観察所	渡邊彩音	名古屋大学	修士課程2 年	杉浦	屋久島と種子島におけるヤマモモの分布 様式の比較 ―ニホンザル絶滅の影響―	40,000
2	2023-A-02	新規	A4) 自由研究	0) 該当なし	青田幸大	東京農業大学	修士課程1 年	三谷	鯨類の睡眠戦略に熱損失が及ぼす影響	80,000
3	2023-A-03	継続	A4) 自由研究	4) 遺伝子解析施設	吉村恒熙	京都大学	博士課程3 年	村山	アカギツネの行動と遺伝子による自己家 畜化仮説の検討	80,000
4	2023-A-04	継続	A4) 自由研究	0) 該当なし	五百部裕	椙山女学園大学	教授	平田	トカラ列島・口之島に生息する野生化ウ シと野生化ヤギの社会生態学的調査	80,000
5	2023-A-05	継続	A4) 自由研究	0) 該当なし	村山 夏紀	三重大学	博士前期課 程1年	三谷	背びれ形状に基づく陸奥湾に来遊するカ マイルカの群れ構成および性比に関する 研究	120,000
6	2023-A-07	新規	A1) 野生動物の保全	0) 該当なし	辻井浩希	一般社団法人小笠原 ホエールウォッチン グ協会	主任研究員	三谷	小笠原群島周辺海域に生息するハシナガ イルカの保全に向けた個体数推定と個体 群構造の把握	80,000
7	2023-A-08	新規	A2) 動物園・水族館 での保全	その他	今村公紀	京都大学	助教	村山	動物園等で飼養されている哺乳動物種・ 個体のiPS細胞バンク化	120,000
8	2023-A-09	継続	A4) 自由研究	0) 該当なし	金子武人	岩手大学	准教授	村山	野生動物配偶子バンクの構築および保存 配偶子の人工繁殖への応用	80,000
9	2023-A-10	継続	A1) 野生動物の保全	0) 該当なし	中込 大河	早稲田大学	修士課程2 年	杉浦	北海道枝幸町におけるオジロワンガウミ ネコに及ぼす捕食以外の間接的影響の解 明	160,000
10	2023-A-11	継続	A4) 自由研究	0) 該当なし	西村大我	近畿大学	博士前期課 程2年	三谷	飼育イルカ成獣における隊列遊泳時の抵 抗軽減効果	120,000
11	2023-A-12	継続	A3) 人と動物の共生	2) 屋久島観察所	西川真理	琉球大学	ポスドク研 究員	杉浦	農作物被害時期におけるヒヨドリ個体数 の推定手法の比較	80,000
12	2023-A-13	継続	A2) 動物園・水族館 での保全	0) 該当なし	山田研祐	オリックス水族館(株) 京都水族館	獣医師	三谷	飼育ハンドウイルカにおけるメタボリッ クシンドローム緩和治療に関する調査	100,000

No	ID	新規・継続	課題分類	利用施設	申請代表者	所属機関	身分	対応者	課題名	配分額
13	2023-A-14	継続	A2) 動物園・水族館での保全	0) 該当なし	春日井隆	名古屋港水族館	部長	三谷	名古屋港に来遊するスナメリの周年変動	80,000
14	2023-A-15	新規	A4) 自由研究	0) 該当なし	加来由津香	近畿大学	修士課程1年	三谷	シワハイルカの社会行動と個体間関係に関する研究	80,000
15	2023-A-16	新規	A2) 動物園・水族館での保全	0) 該当なし	山本啓人	近畿大学	博士前期課程1年	三谷	カツオ産卵行動のマルチ・カメラシステムを用いた3次元モニタリング	100,000
16	2023-A-17	新規	A2) 動物園・水族館での保全	0) 該当なし	高橋 勇太	静岡市立日本平動物園	技師（主事級）	村山	飼育下スローリス類（Nycticebus spp.）の季節変化に伴う代謝量と栄養要求量の変化	80,000
17	2023-A-18	継続	A2) 動物園・水族館での保全	0) 該当なし	柏木伸幸	かごしま水族館	技術職員	三谷	ハンドウイルカの簡便な冷蔵、冷凍精液保存の確立（継続）	80,000
18	2023-A-19	継続	A1) 野生動物の保全	0) 該当なし	Jackson Johnstone	北海道大学	大学院生	三谷	The impact of environmental conditions on the benthic community and sea otter (Enhydra lutris) diet composition in Eastern Hokkaido	100,000
19	2023-A-20	新規	A1) 野生動物の保全	4) 遺伝子解析施設	Fay Taylor	京都大学	博士課程1年	村山	Finding the Forgotten Frosted Myotis: Uncovering Ecology and Behaviour of an Endangered Species in Ashiu Forest, Japan	80,000
20	2023-A-21	新規	A2) 動物園・水族館での保全	0) 該当なし	立山 優里子	千葉市動物公園	技師	平田	獣舎内のアンモニア濃度が飼育下のチーターの行動と糞中コルチゾール濃度に及ぼす影響	160,000
21	2023-A-22	新規	A3) 人と動物の共生	4) 遺伝子解析施設	亀田 佳代子	滋賀県立琵琶湖博物館	副館長	村山	鵜飼のウミウの遺伝的背景の解明	100,000
22	2023-A-23	新規	A1) 野生動物の保全	0) 該当なし	大島康平	筑波大学	修士課程1年	三谷	海洋由来水銀を陸上生態系へ運ぶ「輸送者」としての海鳥の役割の解明	160,000
23	2023-A-24	新規	A4) 自由研究	0) 該当なし	北浦愛望	常磐大学	修士課程2年	三谷	シャチが用いるコールと社会的文脈の変異	80,000

No	ID	新規・継続	課題分類	利用施設	申請代表者	所属機関	身分	対応者	課題名	配分額
24	2023-A-25	継続	A4) 自由研究	0) 該当なし	中陳遥香	京都大学	修士課程1年	三谷	海棲哺乳類のテロメア長および変化量とその要因に関する研究	100,000
25	2023-A-26	継続	A1) 野生動物の保全	0) 該当なし	稲本 俊太	早稲田大学	修士課程1年	杉浦	ウミネコの採食行動における性差と年変動	80,000
26	2023-A-27	新規	A4) 自由研究	2) 屋久島観察所	角田史也	京都大学	修士課程1年	杉浦	ヤクシマザルの花蜜食行動がヤブツバキの繁殖に与える影響	60,000
27	2023-A-28	新規	A1) 野生動物の保全	0) 該当なし	小澤光莉	東洋大学	博士後期課程1年	三谷	東北地域における海鳥を利用した重要海域の推定	100,000
28	2023-A-29	新規	A1) 野生動物の保全	0) 該当なし	小川真由	京都大学	博士後期課程3年	三谷	船舶の航行頻度が小型鯨類スナメリの長期的来遊に与える影響評価	120,000
29	2023-A-30	継続	A1) 野生動物の保全	2) 屋久島観察所	Kim Jaock	京都大学	修士課程1年	杉浦	How the presence and support of a mother affects her daughter's reproductive success in Japanese monkeys	40,000
30	2023-A-31	継続	A3) 人と動物の共生	0) 該当なし	村山恭平	北海道大学	修士課程2年	三谷	仮想市場評価法による北海道東部沿岸のラッコが地域経済にもたらす便益推定	100,000
31	2023-A-32	新規	A1) 野生動物の保全	0) 該当なし	池田 岳弘	京都大学	修士課程1年	三谷	ドローン映像における小型鯨類スナメリの撮影可能深度の検証	80,000
32	2023-A-33	新規	A2) 動物園・水族館での保全	0) 該当なし	石徹白ほのか	北里大学	修士課程1年	平田	ハシビロコウの繁殖成功にむけた調査－個体間関係および営巣行動－	80,000
33	2023-B-01	継続	A4) 自由研究	2) 屋久島観察所	栗原洋介	静岡大学	特任助教	杉浦	ニホンザルの昆虫食が枯死木分解にあたえる影響	
34	2023-B-02	新規	A4) 自由研究	1) 幸島観察所	栗田 博之	大分市	参事	鈴木	野猿公園で活用できるニホンザル妊娠有無判定方法の確立	
35	2023-B-03	継続	A4) 自由研究	1) 幸島観察所	舟川一穂	京都大学	博士課程2年	鈴木	安定同位体比を用いた、ニホンザル野生群における個体レベルでの食性解析	
36	2023-B-04	継続	A1) 野生動物の保全	1) 幸島観察所	井上漱太	名古屋大学	日本学術振興会特別研究員	鈴木	ドローンを用いた空中映像からニホンザルの視野を追跡する	

No	ID	新規・継続	課題分類	利用施設	申請代表者	所属機関	身分	対応者	課題名	配分類
37	2023-B-05	新規	A4) 自由研究	3) 熊本サンクチュアリ	狩野文浩	コンスタンツ大学	ジュニアグループリーダー	平田	コンピュータビジョンを用いたカラスの3次元姿勢情報の推定	
38	2023-B-06	継続	A4) 自由研究	1) 幸島観察所	李怜柱	京都大学	博士後期課程4年	鈴木	野生ウマの社会で母ウマの社会関係が仔ウマの社会性に及ぼす影響	
39	2023-B-07	継続	A4) 自由研究	3) 熊本サンクチュアリ	PIAO YIGE	京都大学	博士課程3年	平田	Investigation of social learning mechanisms in bonobos and chimpanzees: comparative cognitive study on social intelligence underpinning culture	
40	2023-B-08	新規	A4) 自由研究	3) 熊本サンクチュアリ	James Brooks	京都大学	博士課程3年	平田	Collaborative research on great ape group-mindedness	
41	2023-B-09	継続	A1) 野生動物の保全	2) 屋久島観察所	MAJEWSKI Maria Katherine	京都大学	博士課程1年	MacIntosh	Latrine surveys and monitoring for predation and disease spread by invasive raccoon dogs (Nyctereutes procyonoides) on Yakushima island	
42	2023-B-10	継続	A4) 自由研究	2) 屋久島観察所	林亮太	日本工営株式会社	研究員	杉浦	屋久島に産卵にやってくるアカウミガメ等に付着する生物の多様性調査	
43	2023-B-11	新規	A4) 自由研究	1) 幸島観察所	金原蓮太郎	京都大学	修士課程1年	鈴木	密度効果によるニホンザル個体数調節メカニズム検証の予備調査	
44	2023-B-12	継続	A1) 野生動物の保全	2) 屋久島観察所	揚妻直樹	北海道大学	教授	杉浦	ヤクシカの個体群動態および地域個体群間の遺伝子流動について	
45	2023-B-13	新規	A4) 自由研究	1) 幸島観察所	前田 玉青	総合研究大学院大学	JSPS特別研究員	鈴木	野生化ウマの重層社会と集団行動	
46	2023-B-14	継続	A4) 自由研究	2) 屋久島観察所	澤田晶子	京都大学	特任研究員	杉浦	ニホンザルの生態学的調査ならびに菌類胞子の散布生態調査	
47	2023-B-15	新規	A1) 野生動物の保全	4) 遺伝子解析施設	西川完途	京都大学	学部4年生	村山	DNAメチル化によるオオサンショウウオ年齢推定	

No	ID	新規・ 継続	課題分類	利用施設	申請代表者	所属機関	身分	対応 者	課題名	配分額
48	2023-B-17	新規	A1) 野生動物の保全	4) 遺伝子解析施設 5) 細胞・生理分析 施設	木下こづえ	京都大学	准教授	村山	ネパールのシェイポクスンド国立公園に おけるユキヒョウの家畜襲撃について生 理学的要因の解明	
49	2023-B-18	新規	A4) 自由研究	1) 幸島観察所	白澤子銘	京都大学	修士課程1 年	鈴木	宮崎県幸島ニホンザルを対象に赤外線カ メラ（IRT）を用いた探索的研究	
50	2023-B-19	継続	A1) 野生動物の保全	2) 屋久島観察所	杉浦秀樹	京都大学	准教授	杉浦	屋久島西部地域における中大型動物の生 態調査	
51	2023-B-20	新規	A4) 自由研究	1) 幸島観察所	MACINTO SH Andrew	京都大学	准教授	鈴木	Parasite avoidance and hygiene among Koshima macaques revisited	
52	2023-B-21	継続	A4) 自由研究	2) 屋久島観察所	鈴木滋	龍谷大学	教授	杉浦	野生ニホンザル社会のエングラムによる 地域間比較	
53	2023-B-22	継続	A4) 自由研究	2) 屋久島観察所	小野田雄介	京都大学	教授	杉浦	屋久島における森林の構造や動態に関す る研究	
54	2023-B-23	新規	A4) 自由研究	3) 熊本サンクチュ アリ	松村秀一	岐阜大学	教授	平田	チンパンジーの幼少期の生育環境と遺伝 子のエピジェネティックな変異の関連	
55	2023-B-24	新規	A4) 自由研究	2) 屋久島観察所	片岡 直子	京都大学	修士課程1 年	杉浦	ニホンザルの出自分散における社会行動 または葛藤	
56	2023-B-25	新規	A4) 自由研究	3) 熊本サンクチュ アリ	井上治久	京都大学	教授	平田	健常およびダウン症のチンパンジー脳組 織を用いた霊長類神経系の解析とヒト疾 患解析への応用	
57	2023-B-26	新規	A1) 野生動物の保全	2) 屋久島観察所	藤田志歩	鹿児島大学	准教授	杉浦	口永良部島における生物多様性保全に向 けた哺乳類相の基盤データ整備	
58	2023-B-27	新規	A4) 自由研究	2) 屋久島観察所	金原蓮太郎	京都大学	修士課程1 年	杉浦	群れサイズがヤクシマザルの凝集性に及 ぼす影響と凝集性調節時の行動解明	
59	2023-B-28	新規	A4) 自由研究	1) 幸島観察所	鈴木樹	京都大学	修士課程1 年	鈴木	幸島の野生ニホンザルの採食葉選択	
60	2023-B-29	新規	A1) 野生動物の保全	2) 屋久島観察所	南川未来	京都大学	修士課程1 年	杉浦	ニホンザルの腸内細菌の発酵能力	

No	ID	新規・継続	課題分類	利用施設	申請代表者	所属機関	身分	対応者	課題名	配分額
61	2023-B-30	新規	A4) 自由研究	3) 熊本サンクチュアリ	狩野文浩	コンスタンツ大学	Junior Group Leader	平田	類人猿における摸倣場面における注意：アイ・トラッキング研究	
62	2023-B-31	新規	A1) 野生動物の保全	1) 幸島観察所	杉浦秀樹	京都大学	准教授	鈴木	幸島のニホンザルの個体群動態に関する長期研究	
63	2023-B-32	新規	A4) 自由研究	3) 熊本サンクチュアリ	大西絵奈	京都大学	博士課程3年	平田	飼育チンパンジーの排尿行動の観察	
64	2023-B-34	新規	A1) 野生動物の保全	5) 細胞・生理分析施設	鍋島 圭	国立環境研究所	特別研究員	佐藤	コウモリにおける遺伝資源保存とウイルス叢の解明を目的とした研究	
65	2023-B-35	新規	A4) 自由研究	2) 屋久島観察所	佐竹まどか	宇都宮大学	修士課程2年	杉浦	ヤクシマザルにおけるロコモーション観察	
66	2023-B-36	新規	A4) 自由研究	2) 屋久島観察所	王昕 (WANG, Xin)	京都大学	修士課程1年	杉浦	異なる温度域に分布する樹木の相互移植実験による温度適応メカニズムの解析	
67	2023-B-37	新規	A4) 自由研究	1) 幸島観察所	小川あゆみ	京都大学	修士課程1年	鈴木	野生ウマの共同行動におけるjoint commitmentの存在の解明	
68	2023-C-01	新規	実習	2) 屋久島観察所	杉浦秀樹	京都大学	准教授	杉浦	屋久島での野外調査の安全対策	
69	2023-C-02	継続	実習	2) 屋久島観察所	鈴木滋	龍谷大学	教授	杉浦	龍谷大学国際学部国際文化実践IID（屋久島の人と自然）	
70	2023-C-04	新規	アウトリーチ	2) 屋久島観察所	熊井 勇介	東京大学	博士課程2年	杉浦	ウナギの観察エクスカージョン	
71	2023-C-05	継続	アウトリーチ	1) 幸島観察所	杉浦秀樹	京都大学	准教授	鈴木	京大ウィークス2023 幸島野生ニホンザルの観察会	
72	2023-C-06	継続	アウトリーチ	2) 屋久島観察所	赤見理恵	公益財団法人日本モンキーセンター	キュレーター	杉浦	モンキーキャンパス 屋久島研修ツアー	
73	2023-C-07	新規	実習	1) 幸島観察所	坂崎 貴俊	京都大学	准教授	鈴木	自然界に潜む規則性を探る	
74	2023-C-08	新規	実習	2) 屋久島観察所	杉浦秀樹	京都大学	准教授	杉浦	屋久島実習：ヤクシマザルなどの動物の観察	
75	2023-C-09	継続	実習	1) 幸島観察所	杉浦秀樹	京都大学	准教授	鈴木	幸島実習	